

令和6年12月11日

福島刑務所と福島大学地域未来デザインセンターの包括連携協定に基づく「福島大学 矯正×共生」展を開催

福島大学地域未来デザインセンターと福島刑務所は令和6年3月に包括連携協定を締結しました。同協定の下、令和6年12月10日(火)より行政政策学類刑事政策ゼミ(指導教員:高橋有紀)と福島刑務所の共催で「福島大学 矯正×共生展」を開催しています。

ふたつの「きょうせい」を掛け合わせ、犯罪をした者等をも取り残さない地域社会のあり方に学内外の多くの人が関心を持つきっかけとなればと考えています。

【協定の背景と趣旨】

本学と福島刑務所はかねてより、本学教員の外部講師や視察委員会委員への就任、本学学生・院生の参観や心理実習の受入れ、採用広報などにて相互に協力してきました。これらについて、個々の研究室や学類・研究科にとどまらず、本学と福島刑務所それぞれの多様なノウハウや経験を刑務所運営や本学の教育、研究に活用することを視野に、本年3月に包括連携協定を締結しました。

他大学でも特定の学部・研究室と刑務所の教育部門等による連携協定の例は存在します。一方、本学では、福島刑務所と本学の連携した取組みによって得られた知見等を県内の自治体、企業、民間団体等による「地域共生社会」に向けた取組みに還元することを目指し、地域未来デザインセンターと福島刑務所による包括連携協定を締結しました。

【協定締結後の取組み】

協定締結後、福島刑務所から本学教員に受刑者の余暇活動の指導や施設内の植物の分布状況の観察について個別に問い合わせや、依頼があった例や、本学学生が福島刑務所の「再犯防止×地方創生政策ワークショップ」に自主的に参加した例など、多様な分野において本学と福島刑務所が連携する機運が生じつつあります。

また、刑事政策ゼミでは、福島刑務所にて受刑者向けの就労支援説明会の様子をしたり、刑務所職員との意見交換をおこなったりと、協定締結以前よりも多様な形で福島刑務所の取組みを知り、職員らと対話する機会を得られています。これらについては、「矯正×共生展」のパネル展にてゼミ生がパネルで紹介しています。

「拘禁刑」の施行を見据え、刑務所の運営や受刑者の処遇における対話や協働の重要性

が指摘される一方、刑務所出所者等を受け入れる地域のあり方も問われているところ、本学の多様な学生、教職員と福島刑務所の職員が多くの場面で接点を持つことは、刑事政策全般にとって大きな意義を持ちます。

【福島大学 矯正×共生展について】

刑事政策ゼミと福島刑務所は 2021 年以降毎年 12 月に、学内で刑務作業製品即売会や刑務所の取組み等に関するパネル展をおこなう「矯正展 in 福島大学」を開催してきました。本年はこれを「矯正×共生展」とすることで、刑務所の取組みの広報にとどまらず、本学と福島刑務所がより多くの場面で協働し共に発展することや、近時の福祉施策で強調される「地域共生社会」について学内外の人々の関心を高めることを目的としています。こうした趣旨の下、学外の福祉事業所や学内のサークル等にも広く出展や参加を呼び掛けて開催しています。

また、「矯正×共生展」の実施自体も包括連携協定に基づく取組みとして位置づけ、刑事政策ゼミと福島刑務所職員で複数回の打ち合わせの機会を設け、意見を交換しながら準備を進めました。また、矯正展初日 12 月 10 日には、福島刑務所職員と刑事政策ゼミ生の混成チームによる「包括連携協定活性化アイデアコンテスト」をおこないました。

コンテストで出たアイデアや「矯正×共生展」に来場した皆様からの意見も踏まえ、今後、包括連携協定に基づく取組みをより活性化していきたいと考えています。

(お問い合わせ先)

行政政策学類・高橋有紀

電話：090-5033-9296

メール：y-takahashi@ads.fukushima-u.ac.jp

福島刑務所と福島大学 地域未来デザインセン ターの包括連携協定に 基づく取組みについて

2024年12月11日

高橋有紀(福島大学行政政策学類)

y-takahashi@ads.fukushima-u.ac.jp

連携協定締結の経緯と意義

- 福島刑務所と福島大学地域未来デザインセンターの包括連携協定

2023年3月、特定の学部や研究室単位ではない大学と刑務所の包括連携協定は全国初

- 背景

従前からの相互協力...委員就任、矯正処遇、参観・実習etc.

(県外の刑務所における協力例)

「拘禁刑」創設や「刑務所×地方創生」の社会的機運

- 趣旨

相互の運営、教育、研究、人材育成における各種資源の活用

協定の成果を通じた「真の地域共生社会」の実現

協定締結後の諸活動① (従前から取組みも含む)

- 福島大学教員等による活動
 - 学生・院生による参観、意見交換
 - 刑務所の余暇活動等の外部講師
 - 刑務所敷地内の植物の分布状況の調査
- 福島刑務所による社会貢献活動、地域活動
 - 福島大学美術棟の備品修繕
 - 「再犯防止 × 地方創生政策WS」への本学学生の参加

協定締結後の諸活動②

- 福島刑務所と行政政策学類刑事政策ゼミによる取組み

※図書館1階パネル展にて、学生によるパネルでも紹介しています！

6月：受刑者向け就労支援説明会へのゼミ生の参加

7月：双葉地区保護司会「社会を明るくする運動」への刑務所職員の参加

9月：福島刑務所職員との意見交換

11月～「福島大学矯正×共生展」の準備

- 協定締結前より、双方向性の高い活動の実施

福島大学 矯正 × 共生展

- 2021年～刑事政策ゼミと福島刑務所による「福島大学矯正展」

今年は「福島大学 矯正 × 共生」展として、12/10-12に開催
(パネル展のみ16日まで)

- 趣旨

包括連携協定の学内での認知度向上による、福島刑務所と福島大学の「共生」

包括連携協定の掲げる「真の地域共生社会」の実現に向けた、学内外での機運醸成

⇒「共生」について考えるきっかけづくり

福島大学 矯正 × 共生展

●特徴

刑務所職員がゼミに参加し(11/5,12/3)学生と意見交換、準備

刑務所内での広報、ゼミ生・刑務所職員双方からのアイデア募集

⇒「起き上がりホゴちゃん絵付け体験」、「模擬居室・制服展示」、「来場者プレゼント」などの企画に反映

学内サークルや、地域の福祉事業所等による出店、発表

⇒多様な人々を巻き込み、「地域共生社会」を考えるきっかけに

公開シンポジウム(12/10)での「包括連携協定活性化アイデアコンテスト」

包括連携協定活性化 アイデアコンテスト

- 公開シンポジウムにて実施(12/10)
- 刑務所職員とゼミ生の混成チームで「包括連携協定を活かして、福島刑務所×福島大学で『地域共生社会』を実現する取組み」を考え発表
- 福島刑務所、福島保護観察所、福島県庁、福島大学地域未来デザインセンター、福島大生による審査
- 優勝チームのアイデアは！

矯正 × 共生展の意義と今後の展望

- 刑務所と大学に共通する社会的ニーズ

前例や偏見にとらわれず多様な人と対話し、新しい価値を創造する

⇒ 企画の立案や運営を通じてゼミ、刑務所の双方が経験値向上

地域の福祉、子ども支援、まちおこし等の関係者とのつながり創出 (cf.) SNS上での反響

- 福島大学 & 福島刑務所から地域へ！

大学、刑務所双方で「一緒にできること」を引き続き模索

成果や知見を県内の自治体、学校、福祉機関、民間企業等へ還元

⇒ 「真の地域共生社会」の実現へ

共生ってなんだ？

共生 × 矯正展 2024

in福島大学

福島で暮らす私たちが、共に”生きやすい”社会をつくるために
刑務所で行われている取り組みも、少し覗いてみませんか。

刑務作業製品等即売会

刑務所で作られた
「安くて質が良い」製品を販売。
その他”共生”に関わる
ゲスト出店・イベントあり

12月10日(火)

→S棟前広場

12月11日(水)・12日(木)

→学生会館2階大集会室

パネル展示

福島刑務所と高橋ゼミが共同で行った
活動について紹介します
受刑者向けの就労支援説明会や
意見交換会など

12月10日(火)～16日(月)

→図書館1階ロビー

シンポジウム

ゼミ生×福島刑務所職員の
混成チームによる
包括連携協定活性化コンテスト

12月10日 (火)

3・4限

→図書館1階

プレゼンテーションエリア

見学自由(途中退席可)

主催：行政政策学類 高橋有紀ゼミ

本企画は福島大学地域未来デザインセンターと福島刑務所の包括連携協定に基づく取り組みです。

